

平成25年度 第2回総会 議事録

日 時：平成25年6月29日(土)13:30～

場 所：岸記念体育会館 5階特別会議室

出席正会員：金原 昇、長野 修士、石井 直人、安田 郁雄、日下秀夫、志賀野正己、安東寛、

瀬尾健一、朴龍基

委任正会員：牟田靖文、小林辰夫、金珍秀、今枝尚道、福富秀幸、姜炫淳、高木伸幸、井上博人、

阿部海将、李在源

欠席正会員：菅原章由、横野健司、川端徳久、許明信、大驛興次

陪 席：明石散人、小泉秀一、中谷信彦

総数24名、出席数9名、委任数11名、計20名で定款第32条に基づき総会成立。

議長選任：定款第16条に基づき金原 昇会長を議長に選任。

議事録署名人選任：議事録署名人として長野修士、石井直人を指名。

議事に先立ち、金原 昇会長より挨拶。

<審議事項>

1. 平成24年度事業報告及び収支決算について…………… ……長野 修士 理事
事業計画(案)について、資料に基づき、普及・育成関係、技術関係、審判関係、医・科学関係、競技関係、強化関係の順で説明。
会長：事業が40近く行われている。審判育成も選手の育成と併せて大事であるので、ご理解の程
お願いしたい。

平成24年度決算報告について……………指方 幸子 事務局
平成23年度、平成24年度と、2年度連続赤字。過年度の補助金修正で、当期約2,000万円の経常外費用があることもダメージであるが、問題は、当期計上増減額が連続して赤字計上となっていることである。

正常化のため、企業の協賛、マーケティングに真剣に取り組んでいかなければならない。

以上、平成24年度事業報告及び収支決算について満場一致にて承認され、これを総会に諮ることとした。

2. 武田正博正会員除名について……………専務理事 別府清和
平成24年11月16日にて1年間資格停止処分になっていたが、韓国の国技院、世界連盟などに樋口氏と一緒に訪問し、その後、マスコミ、JOC、文部科学省等に、文章を再度、配布した。今回、武田氏の文章内容を確認した結果、反省をしている点も多く見受けられ、また、今までの功績等を考え併せ、除名ではなく、資格停止とする。総会に先立ち、専務理事、常務理事、相談役との話し合いを持ち、禁止事項及び誓約書に関する説明を行い、署名を求めることとする。但し、誓約書に署名しない場合は除名すると決議し、満場一致にて承認した。

3. 鈴木秀俊氏(大阪)除名について……………常務理事 長野修士

平成25年4月12日付けにて1年間資格停止になり、禁止事項を掲載し通知しているが、W.A.T.Aオープンへ出席し、その上、注意事項を守らず、プログラムに禁止事項を掲載している。禁止事項とは、JAPANという名称及びオリンピックマークの使用であるが、特にJAPANという名称については、使用禁止ということを再三通知してある。武田氏と同様に、総会に先立ち、専務理事、常務理事、相談役との話し合いを持ち、禁止事項及び誓約書に関しての説明を行い、署名を求め、得られれば再度資格停止とする。但し、誓約書に署名しない場合は除名すると決議し、満場一致にて承認した。

4. 熊本県テコンドー協会に関する件 ……………常務理事 長野修士

熊本県テコンドー協会について、世界テコンドー連盟以外の団体に加盟協定している事や、6月7日までに会長、正会員を推薦し提出するよう依頼したが、協議中ということで未提出である。除名者樋口悦夫氏が未だ会長職にある事が5月19日の熊本テコンドー協会総会で決議されたことを、西村紀幸氏より報告があった。併せて、西村紀幸氏から、今後は全日本テコンドー協会の規程に従うため、熊本テコンドー協会を退会した事の報告もあった。選手の保護・擁護と全日本テコンドー協会の意向の関係者への説明のため、西田事務局長に6月20日説明会を開催する旨、事前に通知したにも関わらず、熊本県テコンドー協会関係者は一人も出席しなかった。脱会された西村紀幸氏、指導者及び父兄のみの参加であった。

樋口悦夫氏の除名は、正会員としての除名ではなく、樋口悦夫氏本人の除名である。除名後は各テコンドー関係の役職には全て就けない事を再度審議した。

除名後、平成25年4月に樋口悦夫氏は段審査申請を、国技院に直接行っていることも確認済みである。

脱会された西村氏、指導者及び父兄の方々については、各都道府県協会の正会員から、協会預かりとすることが良いのではないかという意見が出た。選手擁護という観点から、早急に熊本県テコンドー協会関係者と会議を開くことが必要であり、弁護士を通じて連絡を入れることが得策ではないかということになった。今後、理事会に一任して決議を取ることで満場一致にて決議された。

5. 平成25年、26年度役員改選について……………会長 金原昇

平成23年・24年度の役員と同じで追加で専務理事から吉田成氏(大阪)、常務理事から阿部海将氏(栃木)を推薦して頂き、日下秀夫氏が宮城県の保科善一氏を推薦し、福岡県から2名の理事が選出されているのは可笑しいとの意見があり各ブロックにて分けるべきだとの意見がありました。

そして、外部理事及び女性理事も登用しないといけないのではないかとの意見もありました。

現在の組織運営の正常化を早急にして、その後に登用するようになりました。

満場一致にて3名追加で承認し改選しました。

6. その他……………

〈報告事項〉

1. マルチサポートについて……………長野強化副委員長

マルチサポート事業ターゲット競技種目に今回はテコンドー女子がターゲットCに入り、アスリート支援で映像にて楠本一樹氏を推薦し、資料を提出しました。JAPAN SPORTにて全ての受け入れをして頂く事を報告し満場一致にて承認を得た。

2. 第6回東アジア競技大会及び2013WTF世界テコンドー選手権大会選考報告について

……………長野強化副委員長

日本代表決定決議を(別紙6)にて日本代表選手・役員決定事項を報告し、満場一致にて承認する。
そして第7回春川オープン国際大会の役員・選手団を報告した。

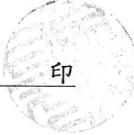
3. その他

- ①大谷幸朗氏(宮崎)の6月24日から1年間資格停止処分を報告した。……………会長 金原 昇
- ②全日本ジュニア選手権大会の選手の参加規定確認……………日下秀夫氏
- ③審判員のC級ライセンスを各都道府県協会が管理出来ないかの意見……………日下秀夫氏

以上により審議事項、報告事項を終了し、総会を閉会。

以上相違ありません。

平成 25 年 6 月 29 日

議長: 金原 昇  印

署名人: 長野 修士  印

署名人: 石井 直人  印

